

ぶぢか 議会だより

初議会臨時号 2011.5.14



拜啓 町民の皆様

新しい議会の体制が整いました。

小値賀町の取り組むべき課題に多方面からと長期的視野に立った研究や調査を行い、住民の皆さんの意見を集約しながら議論を深め、政策を決定していきたいと思います。

皆様とともにある議会を目指してまいります。

よろしくお願いします。

小値賀町議会一同

小値賀のために一生懸命！力をつくします。

農漁業の振興策に力を傾注し、農漁家経営の安定化を図ると共に、若者とお年寄りが互いに協同して住めるような町づくりを目指します。



浦 英明議員

初心を忘れることなく地域住民に密着した町政を念頭に、この土地を愛し、郷土の発展を願い子供から若い人、お年寄りまで希望のもてる小値賀を目指して頑張っていきます。



岩坪義光議員

議員活動も3期目になりました。10人の議員の中では最年少です。初心にかえり、「いつも町民の目線で！」活動してまいります。



土川重佳議員

観光の育成、加工場を設け職場の確保をし、Uターンし易い環境をつくりまします。また、子供達に夢のある事業を提案していきます。



小辻隆治郎議員

私は第1次産業を主体とした取組について町民皆さんの意見をよく聞き、町民との協力の町づくりを考えてまいります。



末永一朗議員

2期目の議員活動に入りました。当選時の感動を忘れず、感謝を忘れず、新たな気持ちで頑張っていきます。



宮崎良保議員

皆様のお声を町政に活かすのが私の仕事です。私の事務所は365日開設中、気軽にお立ち寄りください。



近藤育雄議員

初心を忘れず、皆様方のご意見を聞き、また、ご支援を受け、活力ある住みよい町づくりを目指してまいります。



松屋治郎議員

議長に立石隆教議員、副議長に伊藤忠之議員就任



議長副議長室で執務する新議長と新副議長

本町の課題に議会の立場から積極的に取り組む！

何としても過疎化を止める対策を！



副議長 伊藤忠之

町民の皆様へ、この度私は議員の皆様のご推挙により副議長という身に余る役職につかせていただき大変光栄に存するものであります。反面、その責任の重大さを痛感いたしております。さて、本町にとって重要課題は人口の減少と、本格的な少子高齢化です。これらは社会問題と捉えられがちですが、実際のところ経済問題と直結するものです。就業人口の減少による税収の減、高齢者層が増える事による社会保障費の増額、また、本町の基幹産業である農漁業者の後継者不足など、本町の経済にも大きく関係しています。定住人口を増やし、何としても過疎化を止める対策を考えていかねばなりません。議長の補佐役、良き相談相手としての職責に全力を尽くしたいと思っております。そして、議会として行政の監視機能を十分に果たしてまいります。

地方分権時代の新しい議会像を目指して！



議長 立石隆教

この度、議長に選任していただき身に余る光栄です。もとより浅学非才の身ではございますが、皆様方のご協力ご鞭撻をいただき大役を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。時代は地方分権への大転換を図ろうとしている最中です。全国一律の地方自治の在り方から地方独自の行政へと変化し、自治体同士の競争の時代とも言われております。小値賀の特長を生かした活性化に全力で取り組みたいと思います。議会の在り方も変化を求められています。私は、町民と議会の間を近づけるための工夫と機能的で政策論議中心の活力ある議会にすることを目指します。今まで以上に町民の皆様のご理解とご協力が必要です。なにとぞご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

常任委員会の構成は次のようになりました。

社会経済の進展に対応して、行政が著しく多様化し、専門化してくると、本会議のみではとうてい多数の議案を能率的に処理することは不可能になっていくし、議員もまた、そのすべてに通じることが困難になってしまいます。より慎重に細部にわたって審議するために常任委員会制度はつくられました。

産業建設常任委員会



委員 浦 英明
委員 松屋治郎
委員長 土川重佳
副委員長 末永一朗
委員 岩坪義光



産業建設常任委員会は、産業振興課、建設課、農業委員会に関する事務全般を担当し、それらの事務実態を把握し、必要な法律や国の政策などに通じて、本町行政の足らざる所や問題点を見つけ出し、措置していく役割を担っています。

所管の内容から大きな事業などが検討の課題にあがることもあり、財政運営も含めた総合的な観点が必要とされます。

小値賀町の産業や経済の活性化などがこの委員会の主要な分野になります。

主に産業振興や小値賀経済の活性化、まちづくりを担当



総務文教厚生常任委員会



委員 近藤育雄
副委員長 小辻隆治郎
委員長 宮崎良保
委員 立石隆教
委員 伊藤忠之

町行政の多くの分野を担当

総務文教厚生常任委員会は、出納室、総務課、選挙管理委員会、監査委員、財政課、固定資産評価審査委員会、住民課、保育所、診療所、教育委員会に関する事務並びに他の常任委員会に属しない事務についてを担当し、その調査及び審査を

行います。

調査事項の実態を把握分析、検討して問題点を捉え、それらの問題点を改善し、改革するにはどのような措置を講ずればよいか、採るべき対策なり政策を究明して結論を出していくことになっていきます。

議案が委員会に付託されたとき、また陳情などについても審査する役割を持っています。



こどもの日大会にて



委員長 宮崎良保

2期目のはじめとして総務文教厚生常任委員会の委員長を任される事になりました。

1期4年間は産業建設常任委員会のみでの議員活動でしたので、専門外の委員会となりますが、安心して暮らしやすい社会を実現する町づくりのためには、今後この委員会活動が極めて重要なものと推察致します。

小中高一貫教育の更なる発展のため、1日でも早い小中学校の校舎建設が必要です。

又、将来にわたって安心して暮らせるためには社会福祉事業や介護福祉事業が必須条件ですので委員全員で勉強をし、頑張っていきたいと思います。



委員長 土川重佳

小値賀町の基幹産業である第1次産業の農・漁業の厳しさは当事者である町民皆様が一番肌で感じていらっしゃると思います。

私は、当委員会の委員長として、執行部と共に知恵を出し合い、この島でこの産業を営み、後継者となる若者が自らの職業に誇りと愛着をもてる“人づくり”を目指していきたいと考えています。

現に今年、畜産を営む若者に島外からお嫁さんが来られました。

農業も漁業も所得の安定という面からは、自然相手のことで決して楽ではありません。

しかし、その職業に打ち込む姿に心打たれ、必ずや将来、後継者となる家庭が生まれたいと信じています。

小値賀町の人口減少に歯止めをかける一つの条件として、第1次産業の新たな復活に微力ながら頑張っていく所存です。



議会運営委員会



委員
宮崎良保

委員
土川重佳

委員長
小辻隆治郎

副委員長
末永一朗

委員
伊藤忠之



傍聴席

議会の運営を円滑にするために

議会運営委員会は、多数の議員で構成される議会を円滑にしかも効率的に運営するために、常任委員会とは別に置かれる委員会であり、議会運営の責任者である議長の諮問的な性格を帯びた機関です。

その主な内容は、会期、会期日程、議案や陳情などの取り扱い、一般質問の取り扱いなど定例会や臨時会の運営のあり方についてを議会の前に協議します。

また、議会の会議規則や委員会に関する条例などについても協議します。

その他に、議長から諮問を受けた事項についても答申を出す役割を担っています。



委員長
小辻隆治郎

議会運営委員会は、議会運営が円滑に、かつ効率的に図られることが目的です。このため、議長の諮問的な性格が色濃いため、議長と二人三脚での運営を心掛けてまいります。

又、委員には総務、産建の各委員長、各副委員長も入っているため、意見のとりまとめと調整に心掛けます。

予算、決算の特別委員会の設置については議長、各委員の意見を参照しながら進めていきたいと思っています。

議会のあり方については、全国的にも問題になっていますので、取り組む必要性を感じています。

改めて、委員長として、財政問題についても、さらに勉強すべきと痛感しているところです。

広報常任委員会



委員
宮崎良保

委員
土川重佳

委員長
伊藤忠之

副委員長
近藤育雄

委員
立石隆教



パソコンを使った編集風景



満開の愛宕山のツツジ

地方政治を身近に感じてもらうために

広報常任委員会は、主に「議会だより」の編集を担当します。

地方政治の代表機関である議会と町民の距離は常に近いところにあるべきです。

そのためには議会でのようなものが審議され、どのように決定されているのかをタイムリーにお知らせすることが大切です。

議会と町民にとって広報は重要です。その重要な役割を担っているのが広報常任委員会です。

如何にしたら、分かりやすく、平易に伝えられるのかを常に研究し実行しなければなりません。

現在、広報は「議会だより」が主なものですが、インターネットを使った情報の提供、その他の方法による広報についても研究していく仕事を担っています。



委員長
伊藤忠之

議会は、住民に身近な人が議員になって活動しているので、住民の要望や考えなどを議会に反映させるとともに、その活動を住民に伝える責務があります。

住民の声を気軽に聴き、議会と住民の距離を縮めるよう努力してまいります。

議会活動は、年4回の定例会だけではなく、各種の年間行事などへの参加がありますが、一方で、住民に見える活動として閉会中の視察があります。

視察の内容や成果を見る形にするためには、視察結果を本会議で報告し、情報を積極的にオープンにしていきたいと考えています。

議長を先頭にして、議員全員が広報マンとなってより良い議会広報誌をお届けできるよう頑張ってまいります。

今回の選挙後、新たな議会構成になりましたので、いち早く住民の皆様にお知らせしようと、臨時号を発行いたしました。

これからも、分かりやすい広報誌を目指してまいります。

激しい選挙戦そして当選そして初議会へ

平成23年第2回臨時会開催

初議会は議会の構成を整えるため開催

一般選挙によって議員の当選が確定すると、その議員によって議会が構成されます。

しかし、一定数の議員が存在するだけでは、まだ、議会が適法に活動できる状態にありません。議会が適法に活動するためには、まず、議会の内部構成を整えなければなりません。

そのため、初議会を開いて、会議を主催する議長を決め、議員の議席の指定を行い、各常任委員

の選任をし、さらに正副委員長なども選任して、議案が提案されれば、直ちに審議できる体制にするのが初議会です。

初議会の開催は、議員の当選が決定し、議会の開催に必要な準備が整いつつあることが望ましいとされています。

一般的には、任期の起算日からおおむね10日以内に開かれるのが通例です。



当選後開かれた議員懇談会

5月2日に初議会

議会選出の監査委員に岩坪義光議員



5月2日開催の初議会

5月2日に初議会が開かれました。臨時議長として年長者の末永議員が議長席に座り会期の決定がなされ、続いて議長選挙が行われました。次に新議長が議長席に座り副議長の選挙を行いました。その後、本会議場における議席の決定を行い、常任委員会と議会運営委員会の委員選任と委員長副委員長を互選して決定。

行財政のチェック役を
しっかり務めます。



監査委員
岩坪義光

この度、小値賀町監査委員に選任されました。身に余る光栄と思い、一生懸命に行財政のチェック役をしっかりと果たしてまいりたいと思います。よろしくお願いします。

午後から西新町長をはじめ教育長、各課長を議場に入れ、再開。西浩三新町長の挨拶の後、議会選出の監査委員を町長が提案し、提案の通り岩坪議員が議会で承認されました。